

2012 年 11 月 22 日

調査レポート

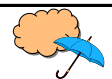
グラフで見る東海経済 (2012 年 11 月)

[今月の景気判断]

東海経済は横ばい圏で推移してきたが、足元で弱含んでいる。海外景気の減速を受けて実質輸出は2ヶ月連続で減少し、鉱工業生産は5ヶ月連続で減少している。雇用・所得環境も弱含んでおり、個人消費は横ばい圏で推移しているものの、百貨店販売が再び減少に転じたほか、自動車や家電製品の耐久財消費はいずれも減少している。企業の設備投資は、今年度は増加計画だが、足元で様子見姿勢に転じている可能性がある。

今後は、エコカー補助金終了にともなう個人消費の下押しに加え、中国での日本車販売の低迷から自動車部品や工作機械などの輸出が減少することが予想される。生産水準がさらに低下して景気の弱含みが続くことが懸念される。

[今月の景気予報]

	3ヶ月前～	現況	～3ヶ月後		3ヶ月前～	現況	～3ヶ月後
景気全般	↓		↓	輸出	↓		↓
個人消費	→		→	輸入	→		→
住宅投資	→		→	生産	↓		↓
設備投資	↑		→	雇用	↓		↓
公共投資	→		→	賃金	↓		↓

(注) 1. 3ヶ月前～、～3ヶ月後は「現況」の変化の方向感(改善、横ばい、悪化)を表し、「現況」は現在の水準を天気マークで表す。
2. シャドー部分は、前月から矢印および天気マークを変更した項目を表す。

[当面の注目材料]

- ・世界景気～米中景気の先行き不透明感、欧州の財政金融危機の行方、世界的な追加金融緩和の効果
- ・企業活動～エコカー補助金終了後の自動車生産・販売、中国の反日デモの影響、緩和期待による株高の行方
- ・家計～雇用・所得環境の先行き、自動車生産の低迷や12月選挙が個人消費に与える影響

～本レポートについては最終ページ「[グラフで見る東海経済]の見方」参照

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

エコノミスト 内田俊宏 (chosa-report@murc.jp)

〒460-8621 名古屋市中区錦3丁目20-27

TEL:052-203-5321

【各項目のヘッドライン】

項目	10月のコメント	11月のコメント	ページ
1. 景気全般	横ばい圏で推移しているが、一部に弱い動き	弱含んでいる	3～4
2. 生産	減少している	減少している	5～7
3. 雇用	持ち直しの動きが一服している	弱含んでいる	7～8
4. 賃金	減少している	減少している	9
5. 個人消費	横ばい圏で推移	横ばい圏で推移	10～11
6. 住宅投資	横ばい圏で推移	横ばい圏で推移	12
7. 設備投資	増加しつつある	増加しつつある	12～13
8. 公共投資	横ばい圏で推移	横ばい圏で推移	13
9. 輸出入	輸出は弱い動き、輸入は横ばい	輸出は弱い動き、輸入は横ばい	14～15
10. 物価	消費者物価は横ばい	消費者物価は横ばい	15
11. 金融	預金は増加、貸出は減少	預金は増加、貸出は減少	16
12. 倒産	倒産件数、負債総額ともに増加	倒産件数、負債総額ともに減少	16

(注) シャドー部分は前月と比較して見方を変更した項目 (11.金融、12.倒産を除く)

(*) 参考資料:「グラフで見る景気予報」 → <http://www.murc.jp/thinktank/economy/overall/japan>

【前月からの変更点】

1. 景気全般

鉱工業生産が5ヶ月連続で減少し、実質輸出も2ヶ月連続で低下した。雇用・所得環境も徐々に悪化している。

3. 雇用

有効求人倍率(季調値)は東海3県とも低下している。新規求人倍率は愛知・岐阜で低下し、三重は横ばいとなっている。

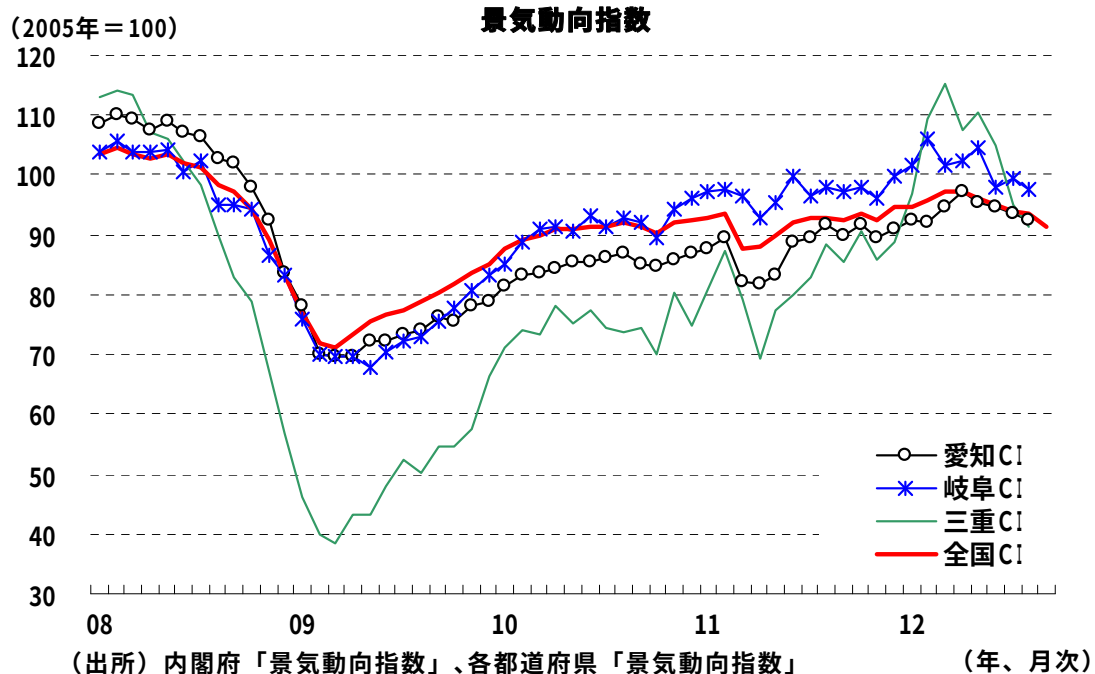
【主要経済指標の推移】

経 済 指 標		11 4-6	11 10-12	12 1-3	12 4-6	12 7-9	12 5	12 6	12 7	12 8	12 9	12 10	
景気全般	景気動向指数 愛知（CⅠ、一致指数）	84.5	90.8	93.2	95.9		95.5	94.8	93.4	92.3			
	岐阜（CⅠ、一致指数）	96.1	98.0	103.1	101.6		104.6	98.0	99.5	97.5			
	三重（CⅠ、一致指数）	75.5	88.5	107.2	107.6		110.5	104.9	95.2	91.2			
	景気ウォッチャー調査（現状判断DI）	36.8	46.2	48.6	48.2	42.1	48.0	45.7	44.9	42.4	39.1	35.9	
	（先行判断DI）	42.7	44.5	47.9	48.6	42.2	49.9	45.2	43.3	42.7	40.6	40.0	
	短観業況判断DⅠ（大企業製造業）	-25	4	17	5	5	-7	<12月予想>					
	（中小企業製造業）	-29	-7	-5	-10	-5	-17	<12月予想>					
	（非製造業）	-24	-4	-3	0	-5	-8	<12月予想>					
	法人企業統計経常利益 製造業（兆円）	0.1	0.3	0.4	0.5								
	非製造業（兆円）	0.2	0.2	0.1	0.2								
生産	鉱工業生産（季節調整済、前期比・前月比）	-11.4	0.7	8.0	-0.2	-8.5	-4.9	-0.2	-2.1	-4.1	-6.3		
	鉱工業出荷（季節調整済、前期比・前月比）	-11.7	0.7	6.3	0.6	-8.1	-2.4	-2.5	-2.4	-2.4	-5.7		
	鉱工業在庫（季節調整済、前期比・前月比）	0.6	-1.8	2.6	6.3	2.4	-6.6	-0.9	7.6	-3.0	0.1		
	鉱工業生産 輸送機械（ " ）	-22.9	5.6	12.5	2.7	-12.5	-11.7	-6.5	1.2	-3.2	-10.5		
	一般機械（ " ）	3.9	-1.8	0.7	-0.1	-7.8	-1.8	-3.1	-0.6	-2.6	-9.1		
	電子部品・デバイス工業（ " ）	-13.5	0.9	10.1	-3.9	-16.7	-1.9	29.8	-18.3	-23.5	10.0		
	プラスチック製品工業（ " ）	-6.3	2.5	8.0	4.9	-8.3	-4.6	-2.8	-1.4	-2.9	-5.2		
	化 学（ " ）	-1.5	0.4	-5.7	1.9	1.5	1.0	6.1	-2.3	1.1	-3.3		
	電気機械（ " ）	-6.2	-1.6	1.1	3.8	-6.2	2.8	-6.6	0.7	-1.4	-7.5		
	金属工作機械受注 総受注（億円）	375.8	363.5	322.2	334.6	332.4	329.7	339.2	357.7	309.4	330.1		
	国内受注（億円）	107.3	116.5	113.9	105.4	96.9	103.8	103.0	107.1	90.3	93.2		
海外受注（億円）	268.4	246.9	208.3	229.2	235.5	225.9	236.2	250.6	219.1	236.9			
大口販売電力量	-2.4	1.9	4.9	6.9	-1.0	10.0	1.3	1.1	-0.8	-3.1			
雇用	完全失業率（原数値、%）	3.9	3.5	3.5	3.8	3.2							
	就業者数（原数値、万人）	770	771	763	761	768							
	常用雇用指数 愛知	99.7	99.5	99.0	99.6		99.8	99.8	99.8	100.0			
	岐阜	99.9	99.5	99.1	99.6		99.6	100.0	100.4	99.5			
	三重	97.5	97.4	99.4	99.9		99.8	99.6	98.8	98.3			
	有効求人倍率 愛知（季節調整値、倍）	0.81	0.98	1.05	1.19	1.15	1.20	1.20	1.19	1.15	1.10		
	岐阜（季節調整値、倍）	0.76	0.80	0.92	1.01	0.99	1.02	1.03	1.01	1.01	0.95		
	三重（季節調整値、倍）	0.67	0.75	0.85	0.95	0.90	0.97	0.94	0.94	0.90	0.86		
	新規求人倍率 愛知（季節調整値、倍）	1.29	1.57	1.72	1.85	1.66	1.91	1.80	1.78	1.67	1.53		
	岐阜（季節調整値、倍）	1.16	1.26	1.45	1.48	1.40	1.48	1.44	1.47	1.45	1.29		
三重（季節調整値、倍）	1.02	1.24	1.39	1.41	1.32	1.41	1.37	1.41	1.28	1.28			
賃金	現金給与総額	-1.5	0.1	-0.5	-0.2		1.0	-1.4	-2.4	-0.3			
	所定内給与	-1.2	-0.6	-0.8	-1.2		-0.5	-1.2	-1.3	-1.6			
	所定外給与	-6.3	7.4	9.9	21.7		25.9	13.0	5.4	4.6			
	勤労者世帯（含む農家）の名目収入 勤め先収入	-5.9	-1.5	4.5	0.4	-5.2	-3.2	2.1	-5.2	-5.5	-4.9		
	定期収入	0.6	-0.2	7.0	1.6	-4.4	-1.1	0.0	-2.6	-5.0	-5.6		
個人消費	勤労者世帯（含む農家）の名目消費支出	0.7	-1.1	-4.8	-4.2	1.8	-0.1	-7.3	2.2	-5.3	8.9		
	百貨店販売額（名古屋市内）	-5.0	-1.3	-0.3	0.0	-0.5	-1.5	1.3	-4.1	0.5	3.6	-2.2	
	百貨店＋スーパー販売額（名古屋市内百貨店除く）	0.8	-0.8	0.4	-1.0	-1.8	1.7	-2.5	-4.8	0.9	-1.3		
	コンビニエンスストア販売額	5.9	9.4	2.4	2.6	-0.7	3.2	-1.3	-1.9	-0.2	0.0		
	新車登録台数（除軽）	-42.4	29.0	53.4	74.2		85.1	53.3	42.5	8.3	-14.9		
	家電販売額	13.3	-43.6	-19.7	-28.1		-26.9	-38.9	-28.0	-3.8	-1.1		
	消費者態度指数（一般世帯、原数値）	35.1	38.6	40.0	41.3	41.7	41.1	41.9	41.0	42.2	42.0	40.5	
	トヨタ国内生産台数（季節調整値、万台）	13.9	28.5	33.5	30.8	27.9	30.7	29.1	30.7	29.1	24.0	23.3	
住宅投資	新設住宅着工戸数（季節調整済年率換算、千戸）	97.7	91.9	96.8	97.8	102.5	101.9	94.0	99.2	109.8	98.5		
	（前年比、%）	-3.9	-13.8	-7.4	0.1	-10.3	6.5	-3.6	-18.8	-11.6	2.3		
設備投資	法人企業統計設備投資（製造業）	-12.6	-10.5	-3.5	19.4								
	（非製造業）	-5.6	1.7	-12.5	20.5								
	企業立地件数	—	—	—	—	—	11	18	14				
公共投資	公共工事請負額	-19.7	-5.7	-0.7	10.5	8.5	42.7	25.8	13.5	8.3	5.0	23.0	
輸出入	実質輸出（季節調整値、07/12=100）	66.0	84.4	85.4	90.5	85.1	93.2	86.3	87.8	86.0	81.5		
	通関輸出（金額ベース、円建て）	-17.1	0.4	5.0	30.5	-0.3	51.2	12.6	2.5	7.4	-9.3		
	実質輸入（季節調整値、07/12=100）	99.0	98.5	98.5	104.4	107.4	105.8	104.1	107.8	104.4	109.9		
	通関輸入（金額ベース、円建て）	19.3	21.6	13.0	6.5	2.1	11.0	-0.5	8.0	-5.1	4.0		
物価	消費者物価指数（除く生鮮）	-0.2	-0.1	0.3	0.3	0.1	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1		
	（食料及びエネルギーを除く総合）	-1.0	-1.2	-0.7	-0.3	-0.4	-0.4	-0.5	-0.4	-0.4	-0.4		
金融	国内銀行預金残高	2.1	3.2	3.4	2.5	1.9	2.6	2.8	1.3	2.0	2.5		
	国内銀行貸出残高	0.1	1.4	2.2	0.4	-0.6	-0.2	0.2	-0.8	-0.2	-0.9		
倒産	倒産件数	29.6	2.7	-17.6	-8.7	22.2	6.6	-24.2	11.9	37.3	20.5	-26.1	

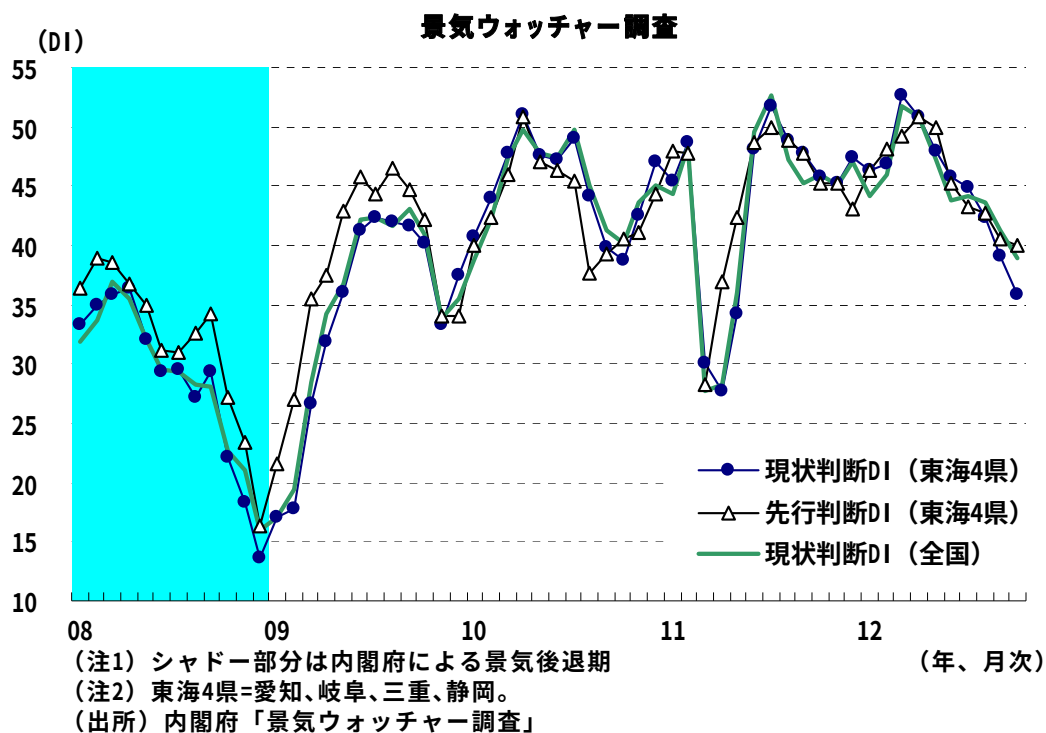
（注）括弧書きのない場合は、単位は前年比、%

1. 景気全般 ～弱含んでいる

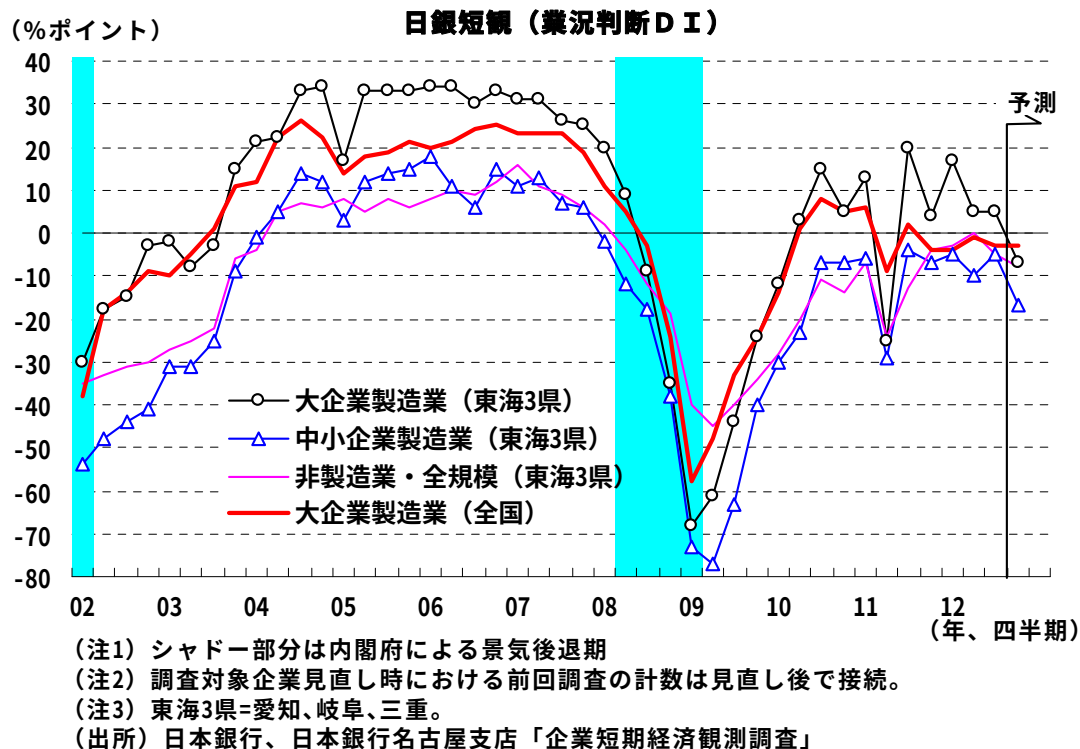
○8月の東海3県の景気動向指数・C I 一致指数は、愛知県が2ヶ月連続で8系列のうち7系列でマイナス寄与となり、低下は4ヶ月連続となった。三重県も3ヶ月連続で低下したほか、岐阜県も2ヶ月ぶりに低下に転じた。先行指数は、愛知県と岐阜県は上昇したが三重県が低下している。



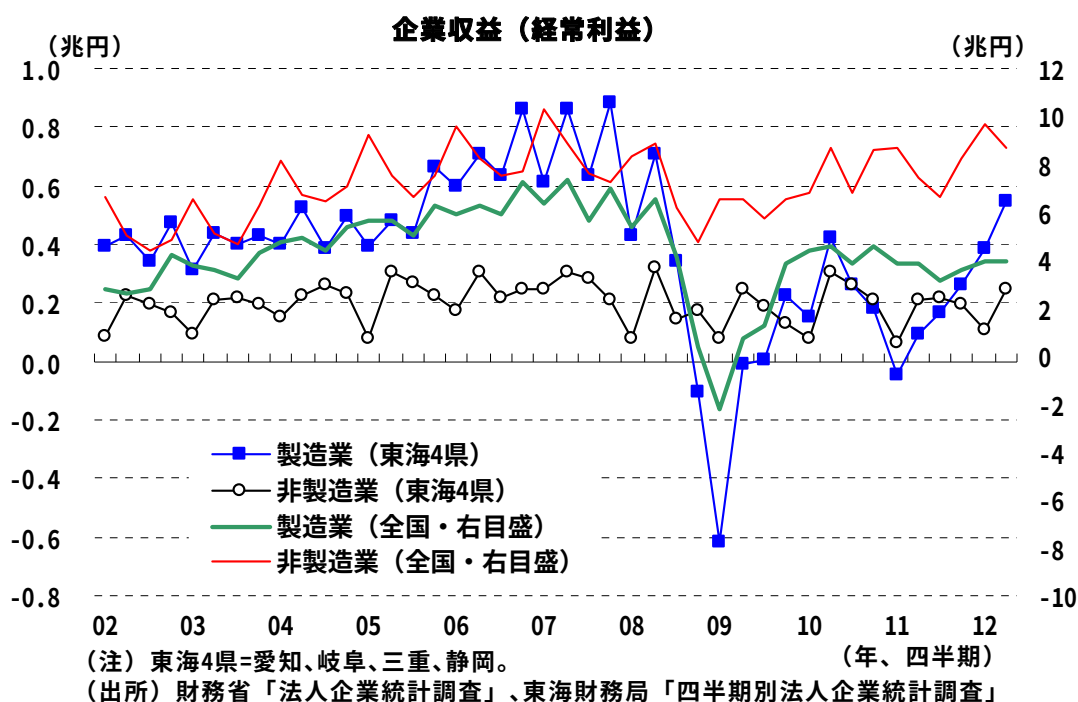
○ 10月の東海4県の景気ウォッチャー調査は、足元の景況感を示す現状判断D Iが前月差-3.2ポイントと大幅に低下し7ヶ月連続の悪化となった。家計動向関連の現状判断D Iも同-2.1ポイントと低下し、自動車関連の悪化が目立つほか、中国の反日デモの影響で旅行業などの受注減が目立っている。東海4県の先行判断D Iは同-0.6ポイントと6ヶ月連続で低下している。



○日銀短観 9 月調査では、東海 3 県の大企業製造業の業況判断 D I (「良い」-「悪い」)は+5 と、自動車の挽回生産で高水準だった前回 6 月調査から横ばいとなった。中小製造業は-5 と前回調査から 5 ポイント改善した。ただし、企業の回答時期は反日デモが深刻化する前となっている。大企業製造業の業況判断 D I の 12 月予測は-7 と 12 ポイント悪化する見通しで全国に比べ慎重な見方となっている。

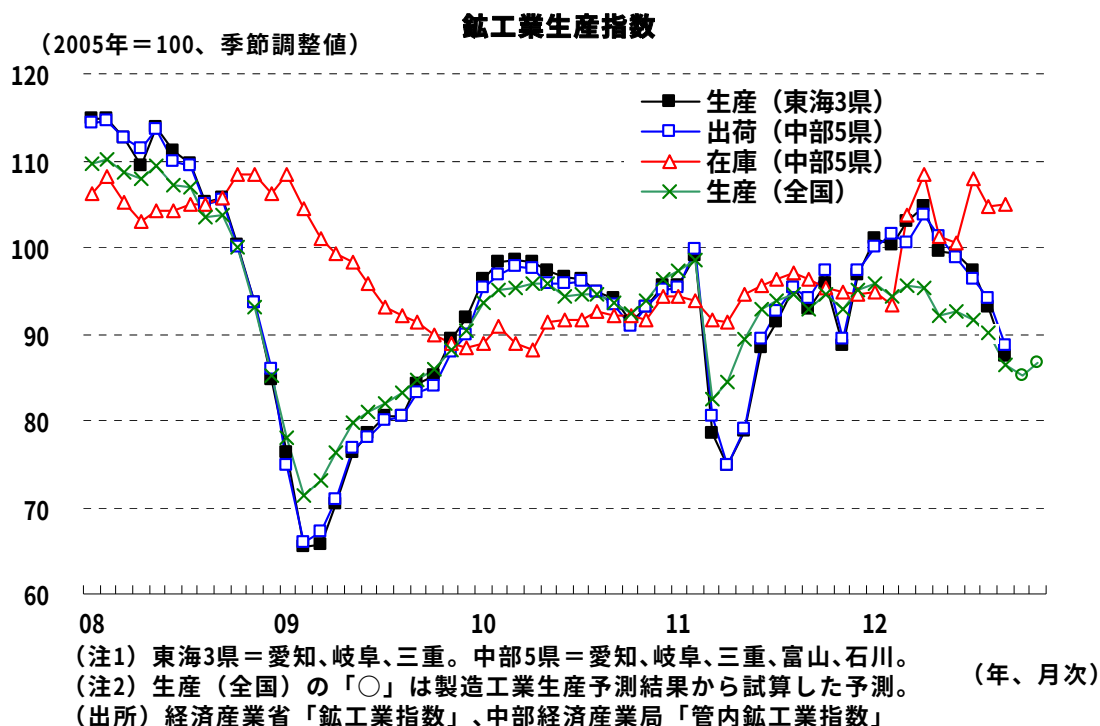


○2012年4～6月期の東海4県の企業収益（経常利益、製造業）は増益が続いており、震災前のピーク（10年4～6月期）の水準を初めて上回った。非製造業は前年同期比で増加したが、水準は低い。今後も、米国経済の持ち直しにより製造業の企業収益は緩やかな増加基調が見込まれるが、中国経済の減速や円高などが業績の下押し要因となり、下期の業績は頭打ちとなってくるだろう。

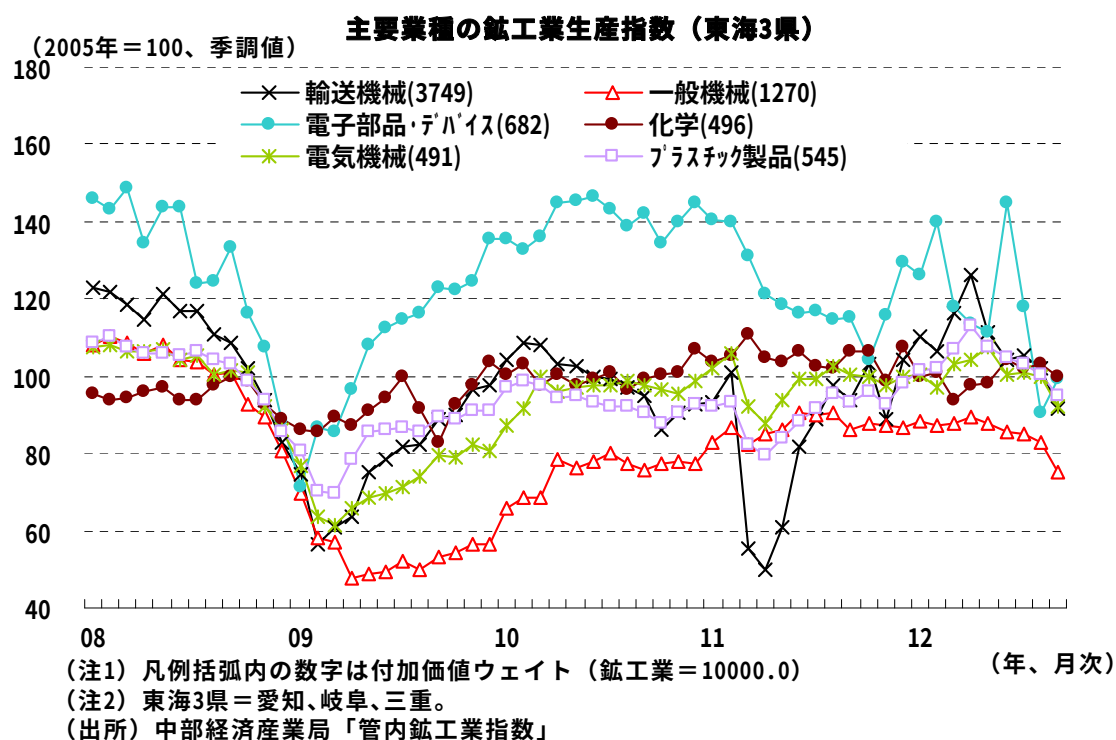


2. 生産 ～減少している

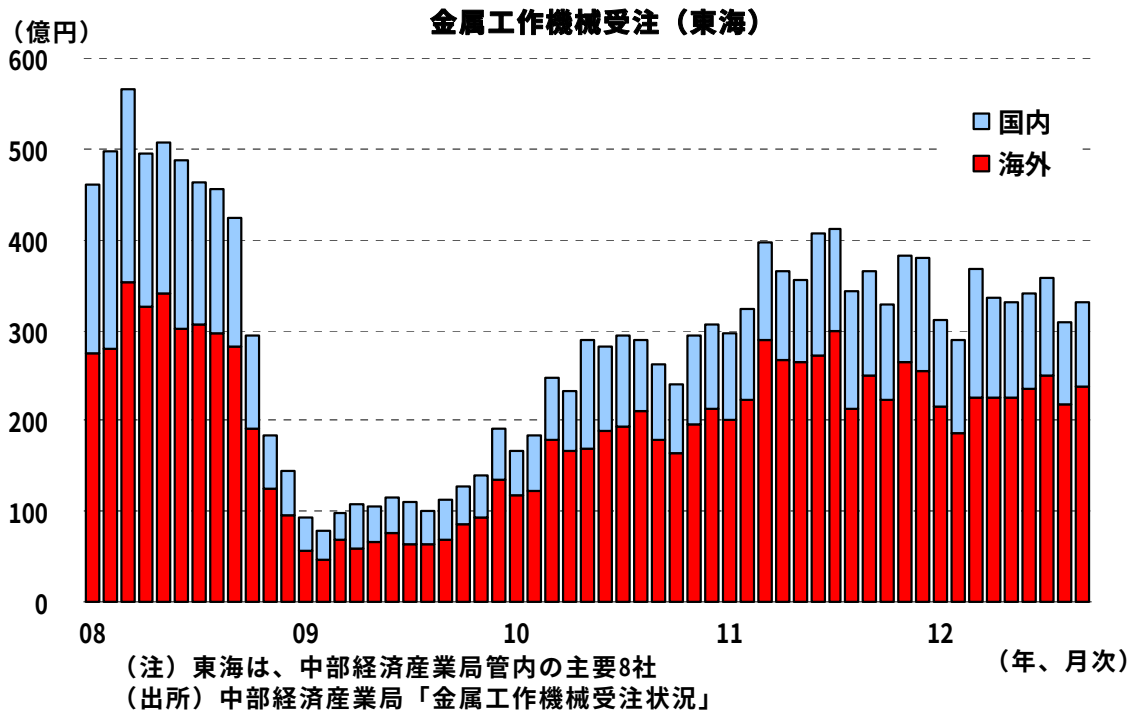
○9月の東海3県の鉱工業生産指数は前月比－6.3%と5ヶ月連続で低下した。エコカー補助金終了にともない自動車関連の生産が減少している。輸送機械が二桁のマイナスとなり、自動車向けの鉄鋼やプラスチック製品、一般機械などは軒並み低下した。生産全体では全国を上回る低下幅が続いている。先行きは、自動車販売の落ち込みや在庫調整の強化を背景に弱い動きが続くと見込まれる。



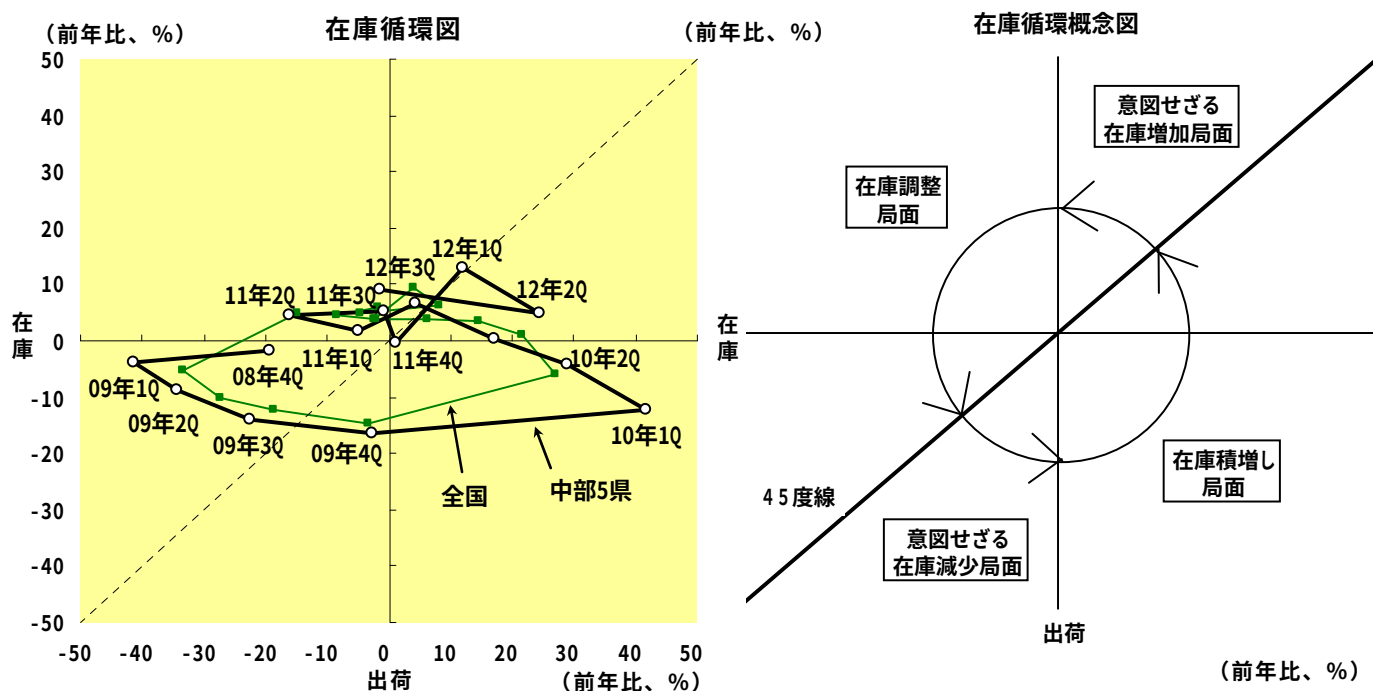
○業種別にみると、輸送機械工業が前月比－10.5%、電気機械が同－7.5%といずれも2ヶ月連続で低下した。自動車向けを中心にプラスチック製品(同－5.2%)や一般機械(同－9.1%)も低下が続いている。電子部品・デバイス(同+10.0%)で2ヶ月ぶりに上昇した。



- 9 月の中部の主要工作機械メーカー8社の総受注額は、前年比－9.8％と8ヶ月連続で前年割れとなった。国内受注が同－20.4％と4ヶ月連続で減少し、海外受注も同－4.8％と2ヶ月ぶりに減少した。欧州向け（同－16.4％）が10ヶ月連続、アジア向け（同－9.8％）が9ヶ月連続で減少、米国向け（同＋5.5％）は増加した。中国向け受注（同－53.1％）は夏頃からの半減傾向が続いている。

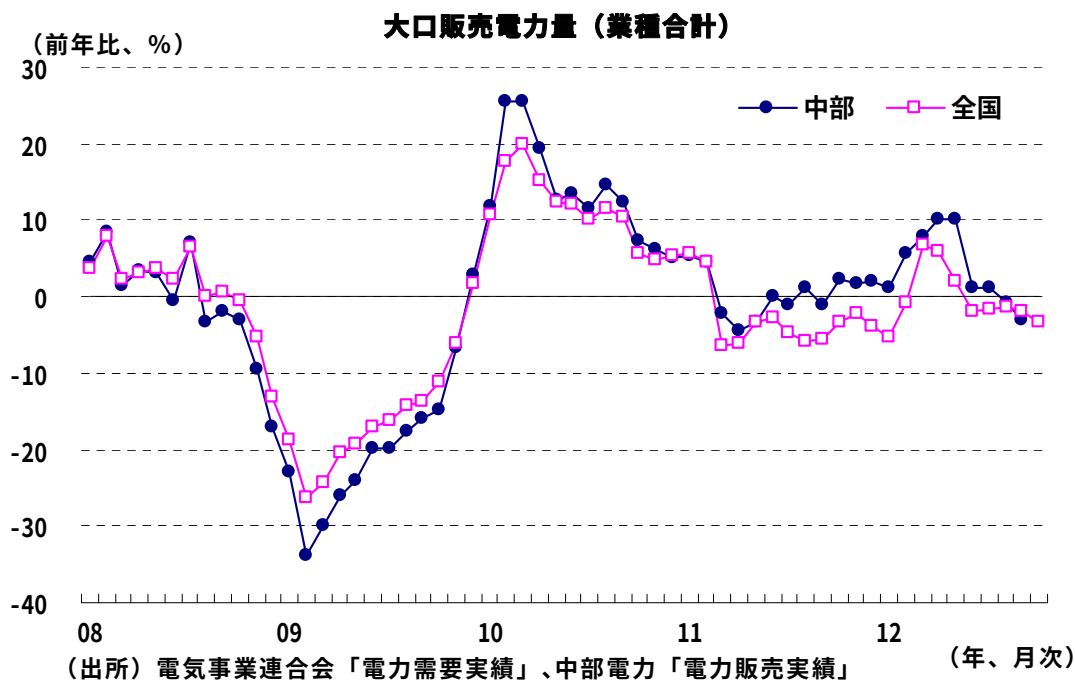


- 9 月の中部5県の出荷は、輸送機械、一般機械、鉄鋼など自動車関連で低下し、前月比では－5.7％となった。在庫は、需要の弱さを背景に電子部品・デバイス、情報通信機械などで積み上がっており、同＋0.1％となった。在庫調整の動きが生産を抑制する可能性が高い。



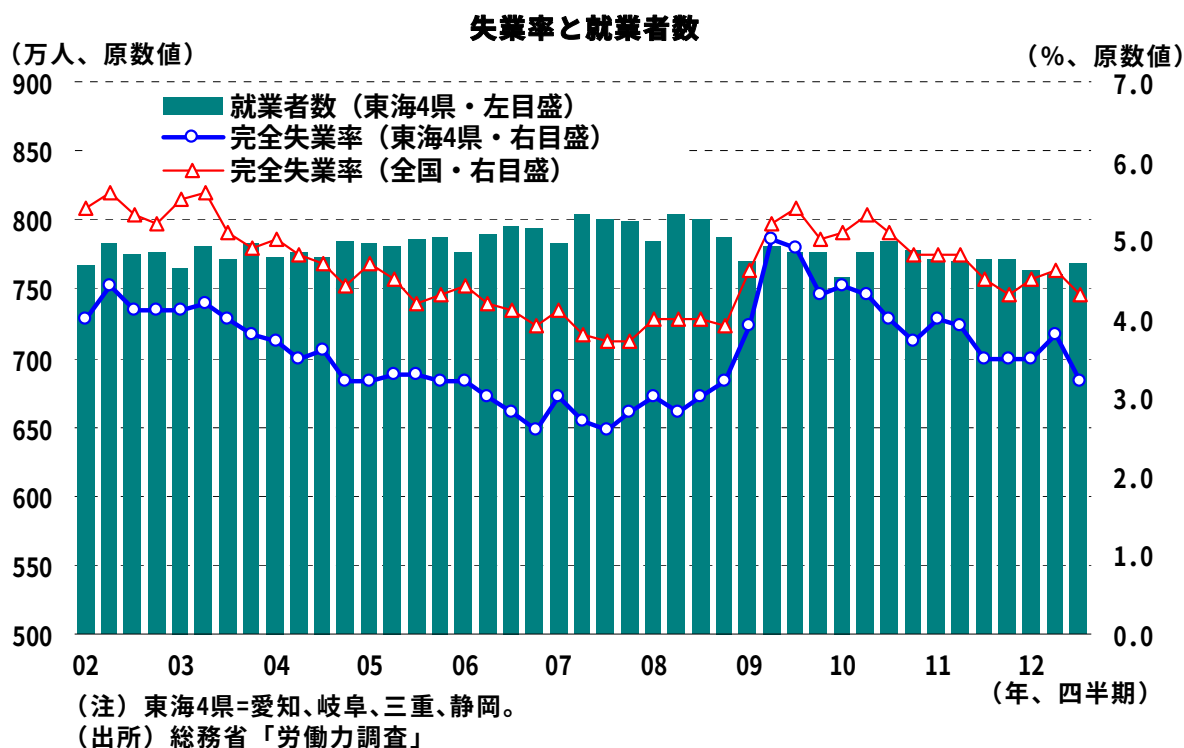
(注1) 数値は四半期・原数値の前年比、在庫は期末値
(注2) 中部5県＝愛知、岐阜、三重、富山、石川。
(出所) 経済産業省「鉱工業指数」、中部経済産業局「管内鉱工業指数」

○9月の中部電力管内の大口電力（契約電力500kw以上）は、前年比－3.1％と2ヶ月連続で減少し、低下幅は全国より大きくなった。自動車などの機械工業向けが－2.5％とマイナスに転じたほか、自動車関連も多い鉄鋼業向けは、前年に停めていた自家発を稼働させた影響で－11.9％と大きく減少した。

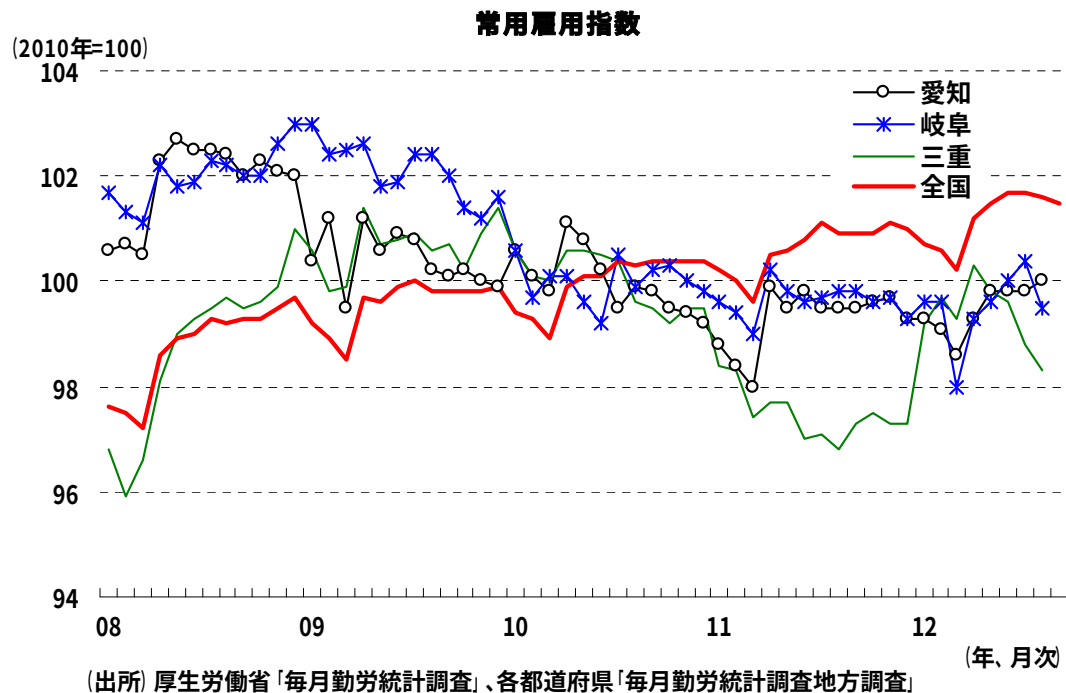


3. 雇用 ～弱含んでいる

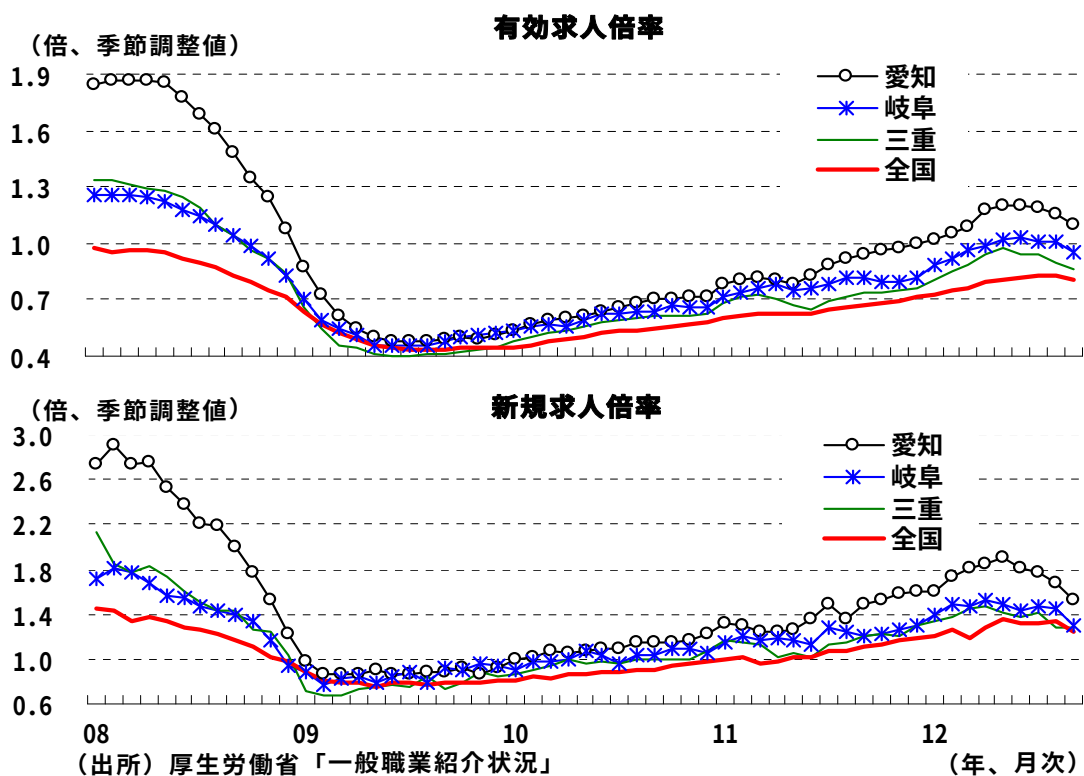
○2012年7～9月期の東海4県の完全失業率は3.2％（前年差－0.3％ポイント）と全国（4.3％）と比べて低水準で推移している。一方、同時期の就業者数は前年差4万人の減少となっている。雇用環境は、持ち直しの動きが一服し弱含んでおり、今後は、自動車生産の減少にともなって厳しさが増すことが予想される。



○8月の東海3県の常用雇用指数は全国に比べて弱い動きが続いている。愛知県は前年比+0.5%と小幅な上昇にとどまり、岐阜県は同-0.3%と2ヶ月ぶりに低下した。前年の水準が大きく低下していた三重県は同+1.5%と8ヶ月連続で上昇しているものの、伸び率は縮小している。

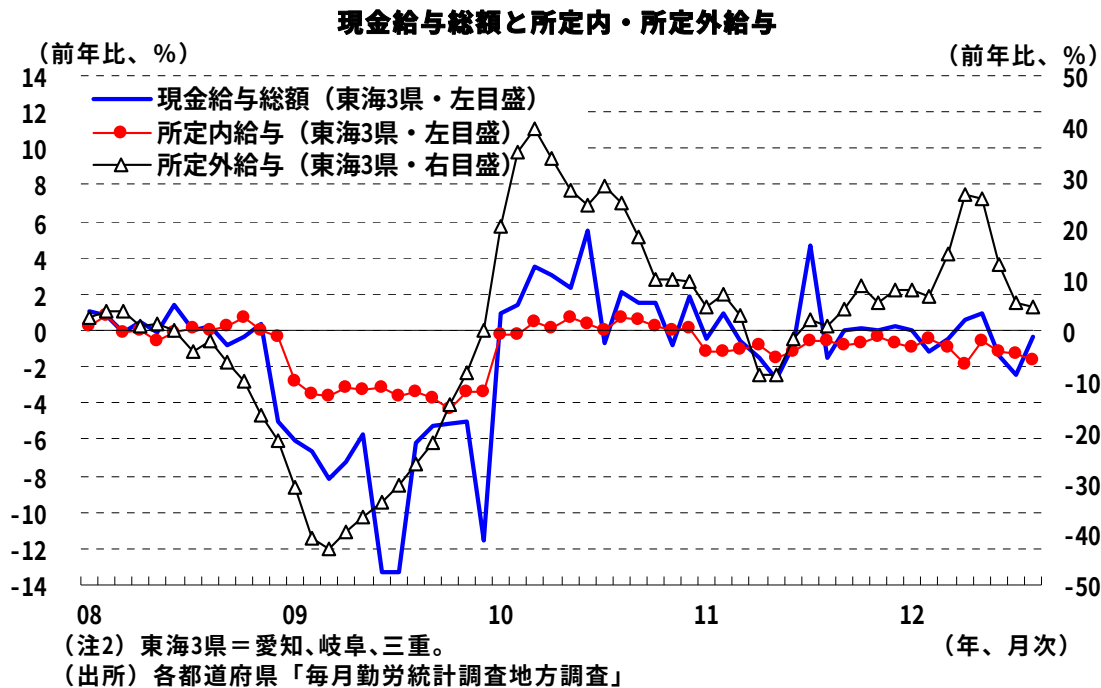


○9月の東海3県の有効求人倍率（季節調整値）は、愛知県が1.10倍と3ヶ月連続で低下したほか、三重県は0.86倍と2ヶ月連続、岐阜県は0.95倍と2ヶ月ぶりに低下した。新規求人倍率（同）は、愛知が1.53倍で4ヶ月連続、岐阜は1.29倍で2ヶ月連続の低下、三重は1.28倍で横ばいだった。

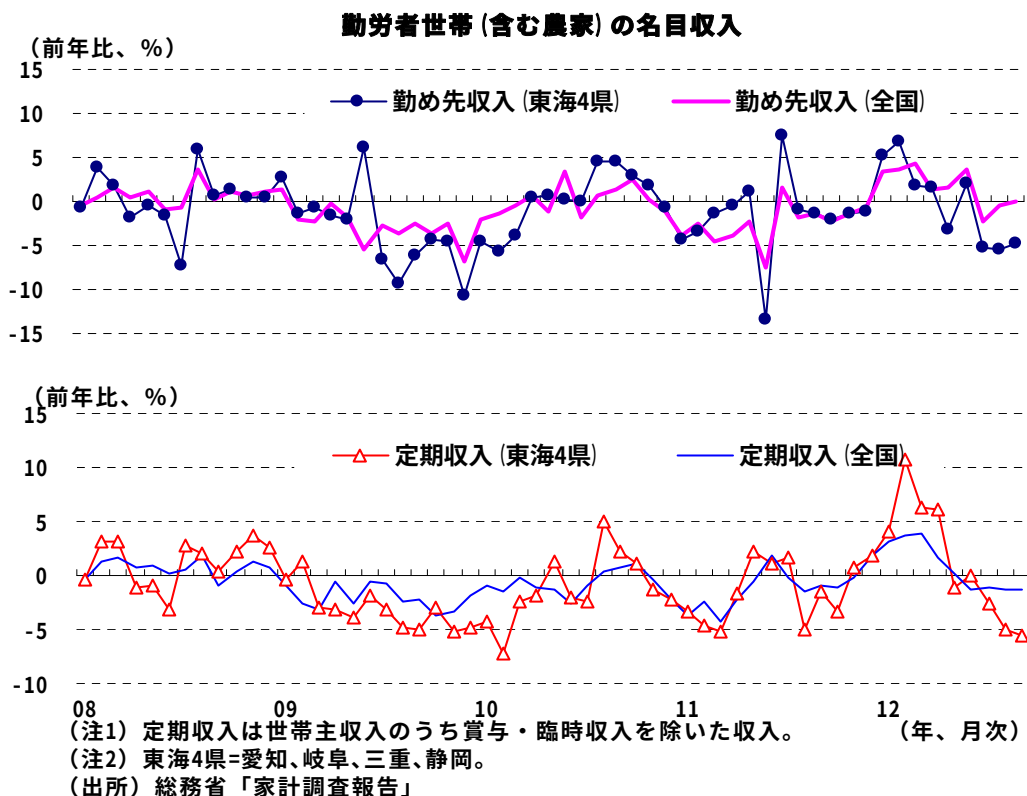


4. 賃金 ～減少している

○8月の一人当たり現金給与総額は、前年比-0.3%と3ヶ月連続で減少した。所定内給与は同-1.6%と20ヶ月連続で減少し、所定外給与は同+4.6%と14ヶ月連続で増加したが増加幅は縮小した。賃金の持ち直しは所定外給与に限定されていたが、自動車生産の減少にともない、増加幅が縮小している。企業の人件費抑制姿勢は根強く、今後も弱い動きが続くと見込まれる。

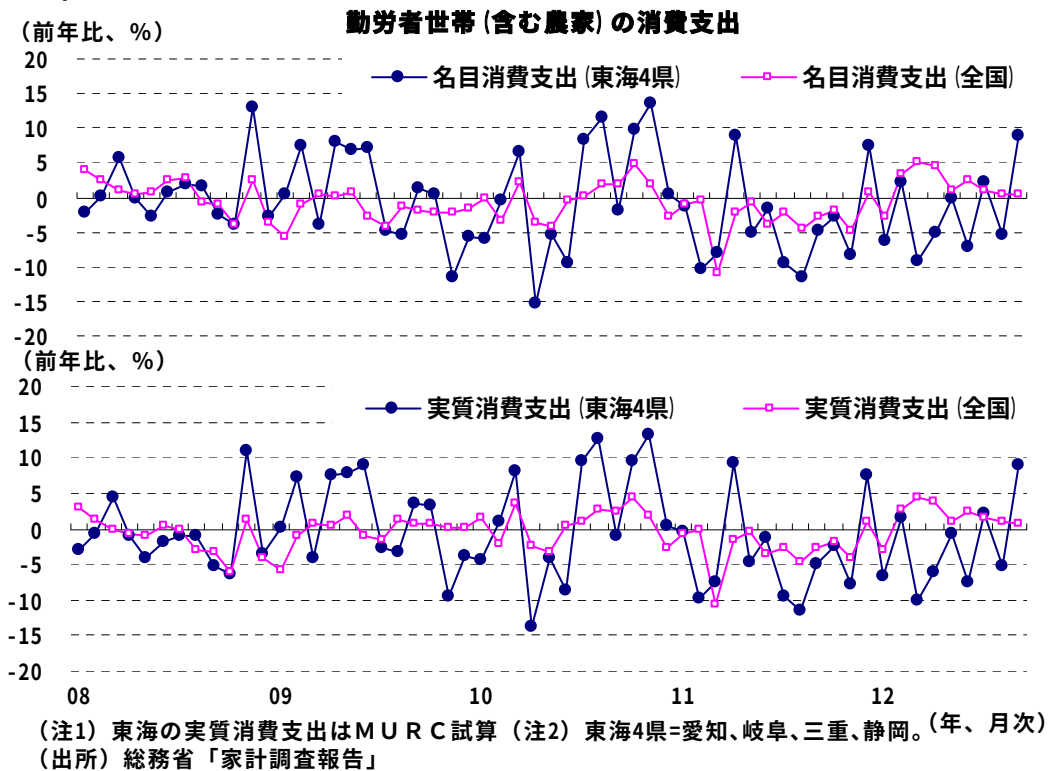


○ 家計調査によると、9月の東海4県の勤労者世帯(含む農家)の賞与を含む勤め先収入は前年比-4.9%と3ヶ月連続の減少となった。定期収入(世帯主収入のうち賞与・臨時収入を除いた収入)は前年比-5.6%と5ヶ月連続で減少している。勤め先収入と定期収入は春先にかけて全国比で強めの動きになっていたが、所定外給与の伸び悩みが響き、直近数ヶ月では全国よりも弱い動きが続いている。

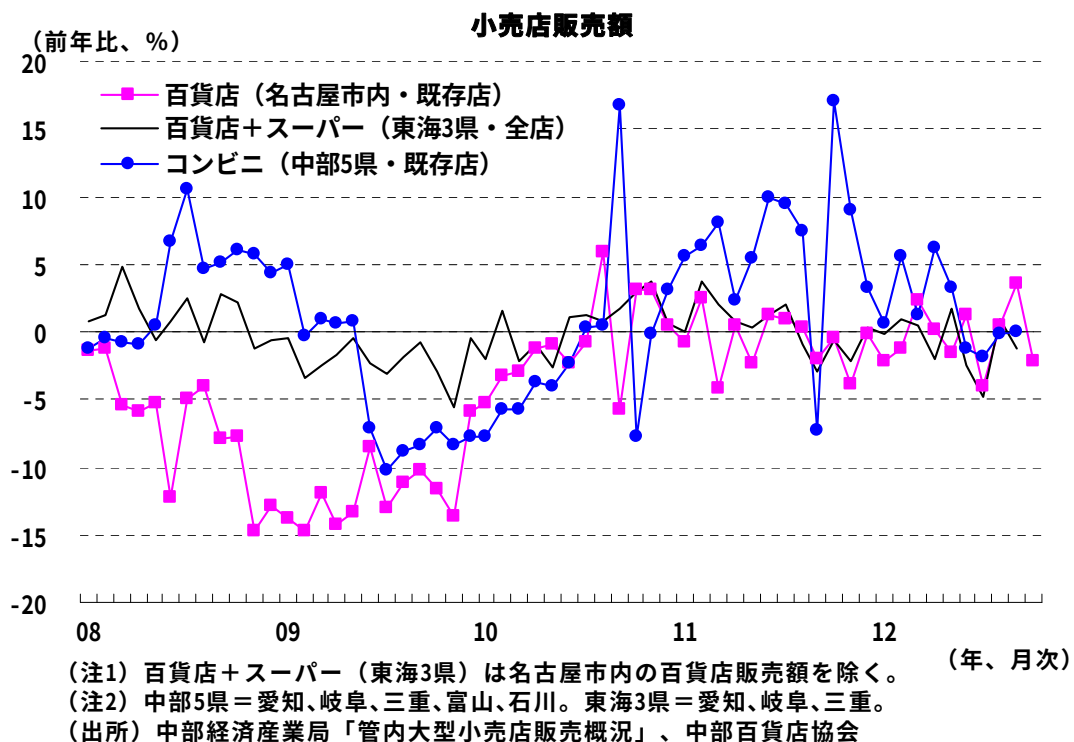


5. 個人消費 ～横ばい圏で推移

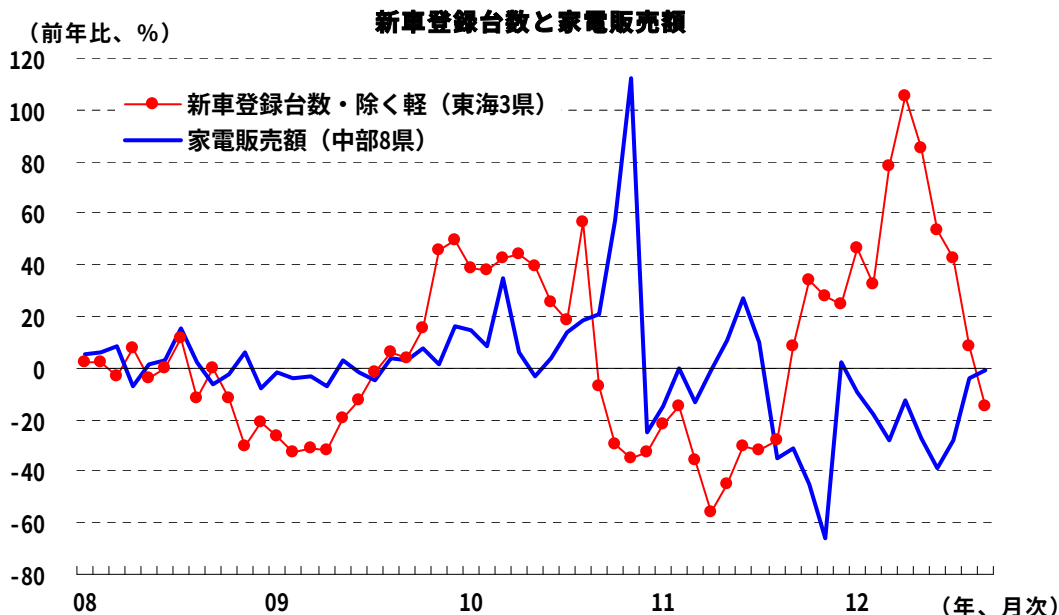
○9月の東海4県の勤労者世帯（含む農家）の名目消費支出は、前年比+8.9%と2ヶ月ぶりに増加した。もともと、非正規社員を中心とした雇用環境の持ち直しは一般し弱含んできており、所定外給与の伸びも弱まっている。個人消費は総じて見ると底堅く推移しているものの、今後も横ばい圏での推移が見込まれる。



○10月の名古屋市内の百貨店販売額（速報値）は前年比-2.2%と3ヶ月ぶりに減少した。高島屋の北海道展と丸栄の大型書店開業が寄与したものの、月前半の残暑で各社とも秋物衣料が不振だった。9月の東海3県の大型小売店（百貨店+スーパー）の販売額は同-0.3%で2ヶ月ぶりに減少し、中部5県のコンビニ販売額は同0.0%と横ばいだった。食品や日用品の消費は弱含んでいる。



○9月の東海3県の新車登録台数（乗用車、除く軽）は、前年比－14.9%と13ヶ月ぶりに減少した。度重なる買い替え支援策により需要を先食いしている面が大きく、エコカー補助金終了後もメーカー独自の支援策や新車投入効果はあるものの徐々に反動減が出ている。一方、中部8県の家電販売額はテレビ販売の不振が続き、前年比－1.1%と9ヶ月連続の減少となったが減少幅は縮小した。

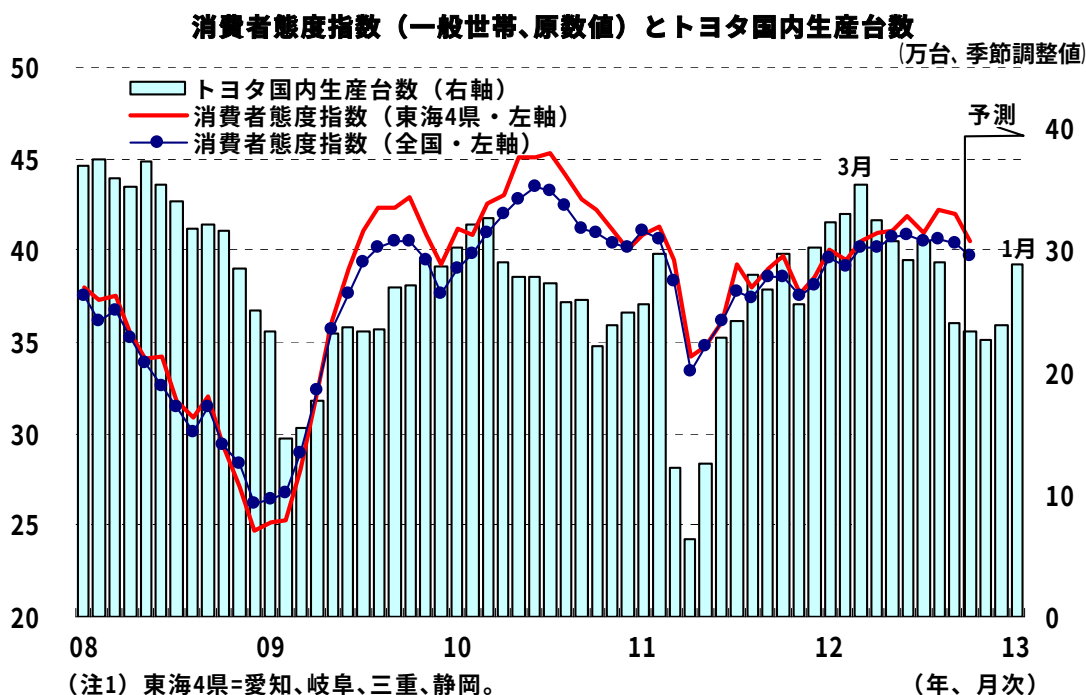


(注1) 中部8県＝愛知、岐阜、三重、富山、石川、福井、静岡、長野の8県全店ベース。

(注2) 東海3県＝愛知、岐阜、三重。

(出所) 日本銀行名古屋支店「東海3県の金融経済動向」

○消費者マインドを表す消費者態度指数（東海、一般世帯、原数値）は震災からの改善傾向が続いていたが、10月は前月比－1.5ポイントと2ヶ月連続で低下し低下幅も拡大した。自動車生産のピークアウトに伴い東海の消費者心理の頭打ちが鮮明となっている。トヨタの生産計画は9月以降に大きく低下しており、小売の書き入れ時となる12月の選挙実施と合わせ、消費者マインドへの悪影響が懸念される。



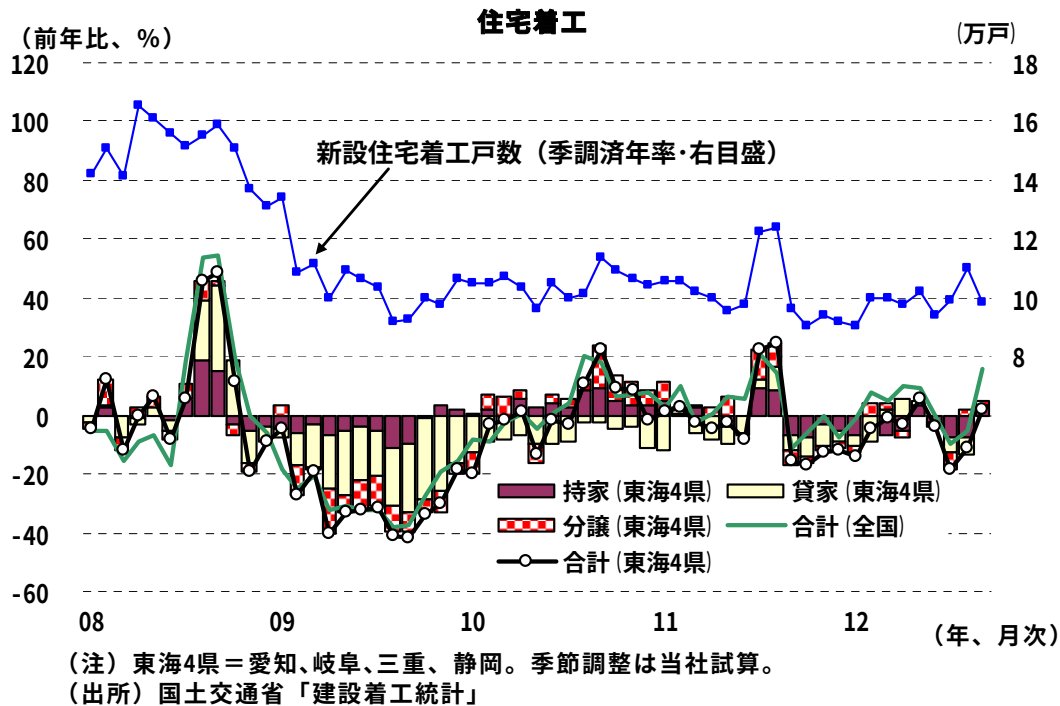
(注1) 東海4県＝愛知、岐阜、三重、静岡。

(注2) トヨタ国内生産台数はMURCにて季節調整。

(出所) 内閣府「消費動向調査」、トヨタ自動車生産「国内販売・輸出実績」
中部経済新聞「トヨタ生産計画」

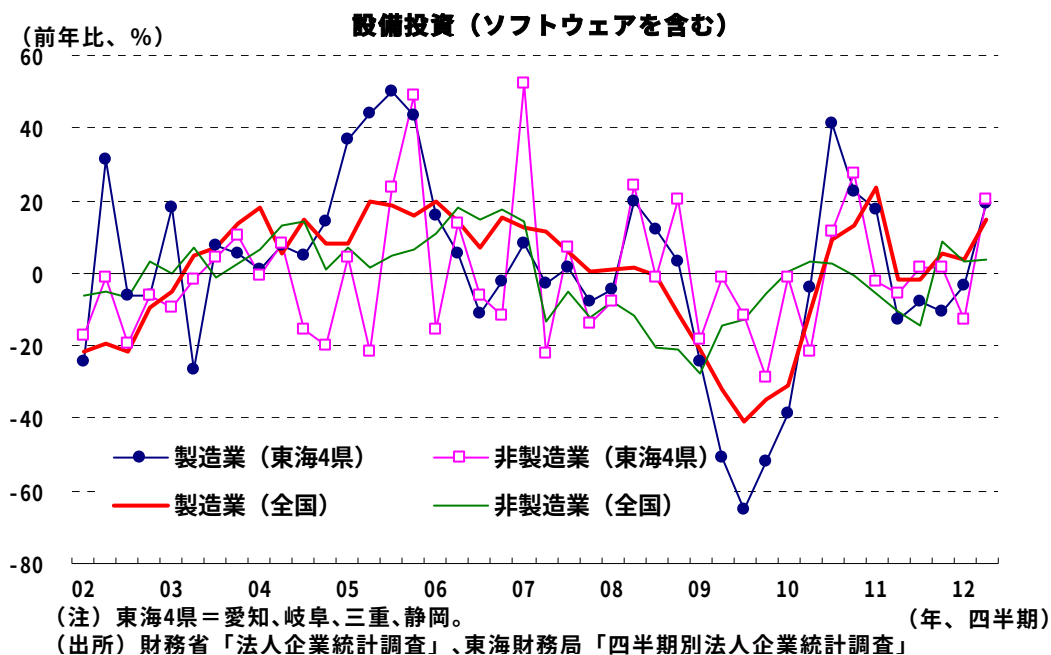
6. 住宅投資 ～横ばい圏で推移

○9月の東海4県の住宅着工戸数は、前月比で-10.2%と3ヶ月ぶりに減少したが、前年比では+2.3%の8027戸と3ヶ月ぶりに増加した。前年比でみた利用関係別の寄与度では、持家、貸家が4ヶ月ぶりにプラス、分譲が2ヶ月連続でプラスに寄与した。今後の住宅投資は、雇用・所得環境の悪化が懸念される中、横ばい圏での推移が見込まれる。

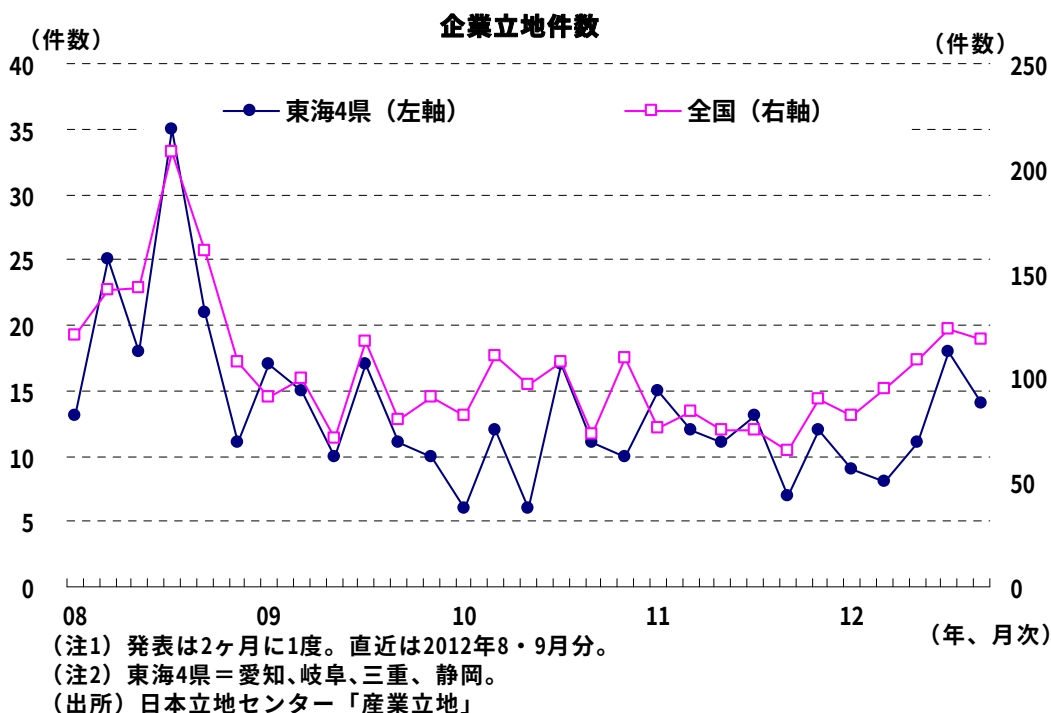


7. 設備投資 ～増加しつつある

○2012年4～6月期の東海4県の製造業の設備投資は前年比+19.4%と5四半期ぶりに増加した。非製造業（ソフトウェアを含む）も前年比+20.5%と増加した。設備投資は全国比でやや弱めの動きが続いていたが、製造業・非製造業ともに全国を上回った。日銀短観9月調査では、12年度の設備投資計画は製造業（+24.4%）非製造業（+14.8%）ともに増加見込みだが、足元、様子見姿勢に転じている可能性がある。

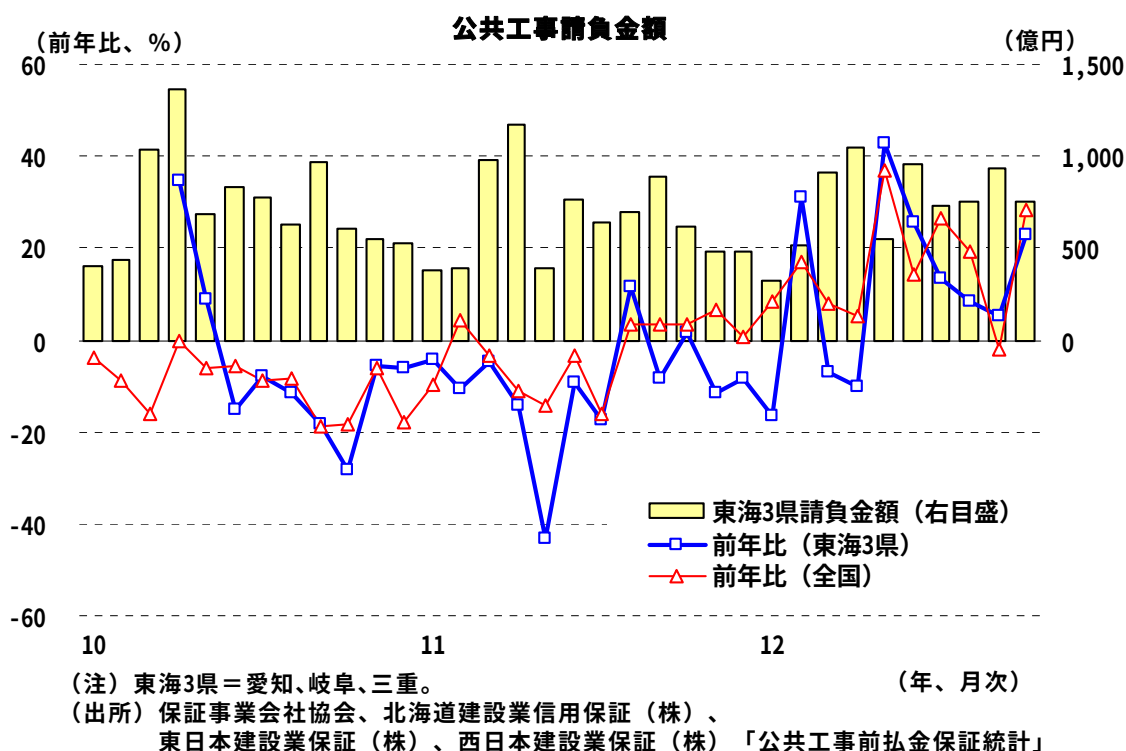


○2012年8・9月の東海4県の企業立地件数は、去年同期より7件多い14件と増加したが、前期の6・7月と比べると減少した。昨年度後半以降、円高定着などもあり製造業を中心に全国と比べて企業立地件数が伸び悩んでいた東海だが、ここに来て再び全国との立地件数のかい離が目立ち始めている。



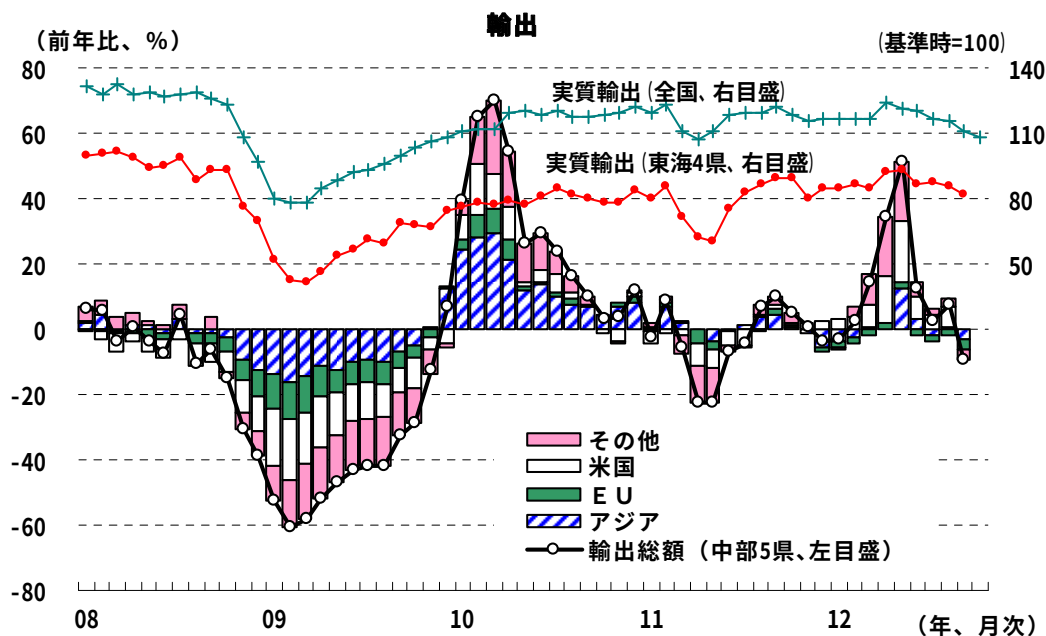
8. 公共投資 ～横ばい圏で推移

○10月の東海3県の公共工事請負額は、前年比+23.0%の752億円と増加した。発注者別では国が前年比+27.9%と6ヶ月連続で増加、地方は同+22.0%と3ヶ月ぶりに増加した。東海3県では、東日本大震災の復興需要による影響はみられず伸び率も低下傾向にあるが、三重県の災害復旧および防災対策工事などもあり、今後も横ばい圏での推移が見込まれる。



9. 輸出入 ～輸出は弱い動き、輸入は横ばい

○9月の実質輸出（季調済）の水準は2ヶ月連続で低下した。また、9月の名古屋税関管内の輸出額は、前年比－9.3%と8ヶ月ぶりに減少した。地域別にみると、EU向けが4ヶ月連続で減少したほか、米国向けは13ヶ月ぶりに減少、アジア向けも2ヶ月ぶりに減少した。今後も、欧州や中国など海外景気の減速を背景に弱い動きが続くと見込まれ、特に中国向け輸出の動向に注意が必要である。



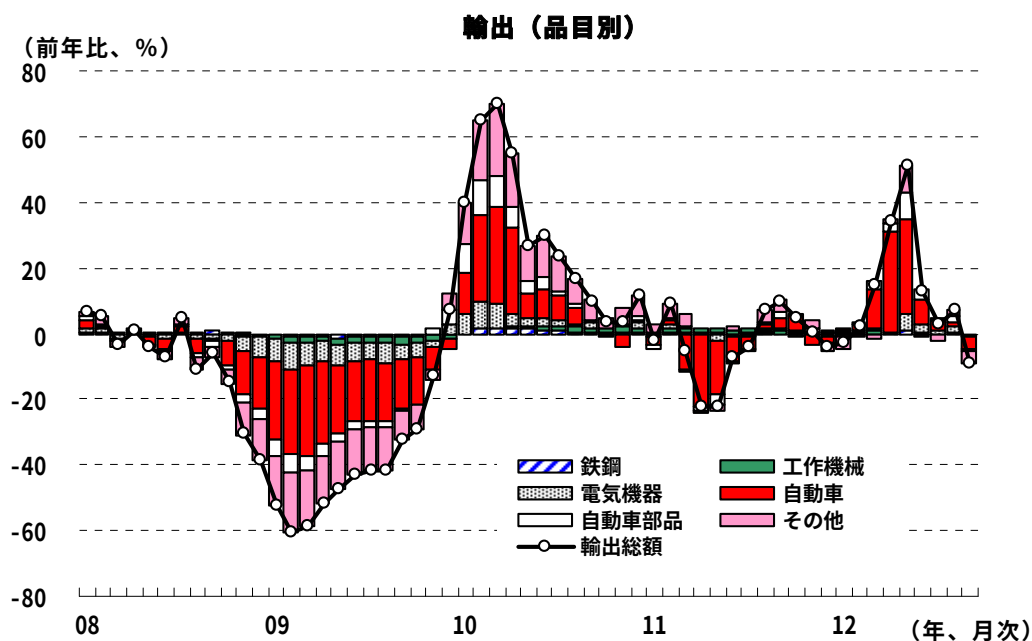
（注1）実質輸出＝東海4県の基準は2007年12月としMURC試算。全国の基準は2005年。

（注2）中部5県＝愛知、岐阜、三重、静岡、長野。東海4県＝愛知、岐阜、三重、長野。

（出所）財務省「貿易統計」日本銀行「実質輸出入」

日本銀行名古屋支店「東海3県の金融経済動向」

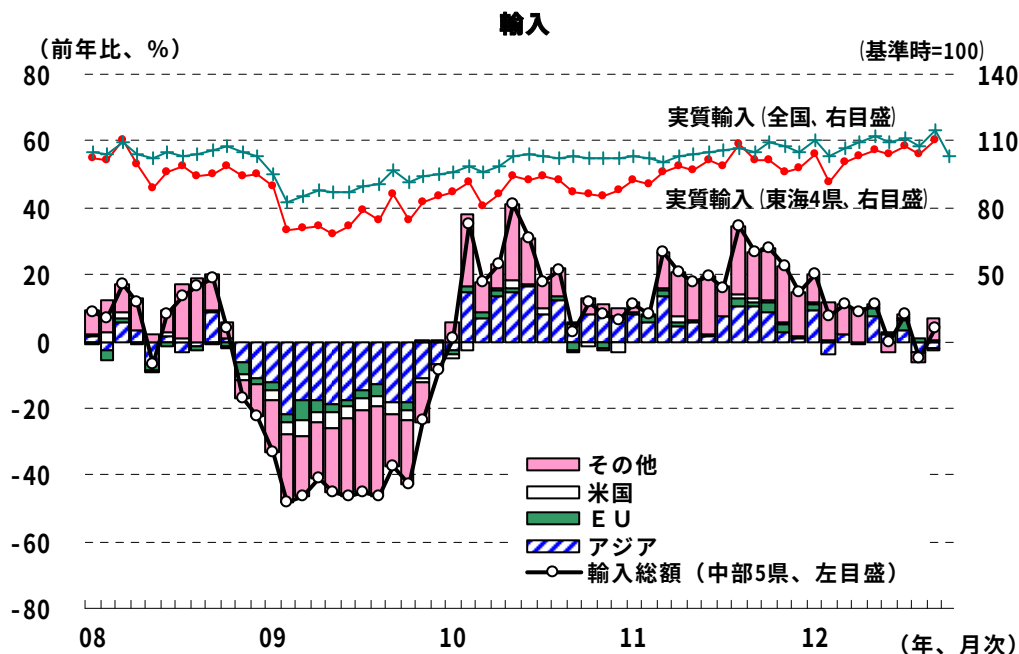
○9月の名古屋税関管内の輸出額を品目別にみると、前年比－9.3%の伸び率のうち、自動車の寄与度が－3.8%ポイントとマイナス寄与に転じ、自動車部品（同－0.6%ポイント）や電気機器（－0.5%ポイント）もマイナスに寄与している。



（注）中部5県＝愛知、岐阜、三重、静岡、長野。

（出所）財務省「貿易統計」

○9月の実質輸入（季調済）の水準は2ヶ月ぶりに増加した。また、9月の名古屋税関管内の輸入額は、前年比+4.0%と2ヶ月ぶりに増加した。地域別にみると、中東などその他地域からの原油やLNGガスの輸入に伴う寄与度が+6.6%ポイントとプラス寄与に転じ、アジアからの輸入が-2.1%ポイントと2ヶ月連続でマイナスに寄与した。今後も、横ばい圏での推移が続くとみられる。



(注1) 実質輸入＝東海4県の基準は2007年12月としMURC試算。全国の基準は2005年。

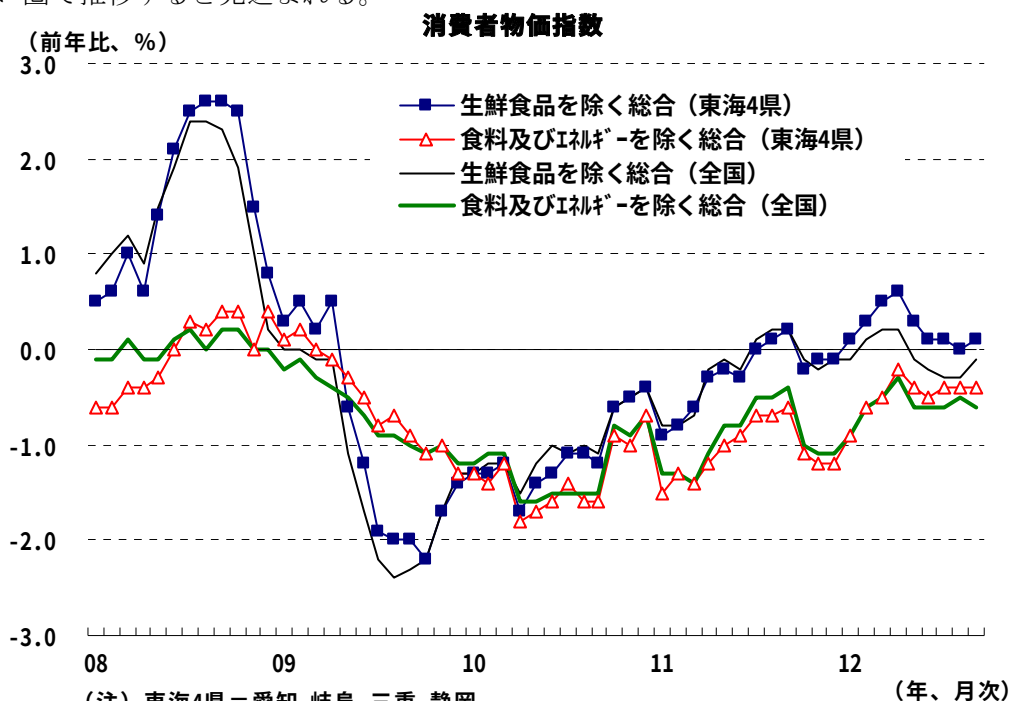
(注2) 中部5県＝愛知、岐阜、三重、静岡、長野。東海4県＝愛知、岐阜、三重、長野。

(出所) 財務省「貿易統計」日本銀行「実質輸出入」

日本銀行名古屋支店「東海3県の金融経済動向」

10. 物価 ～消費者物価は横ばい

○9月の東海4県の消費者物価指数は、生鮮食品を除く総合では、家電製品やガソリン価格が下落した一方、電気・ガス代が上昇し、前年比で0.1%と横ばいとなった。食料・エネルギーを除く総合では、同-0.4%となった。家計の所得環境は弱含んでおり、物価の上昇圧力は弱い。今後も、消費者物価は横ばい圏で推移すると見込まれる。

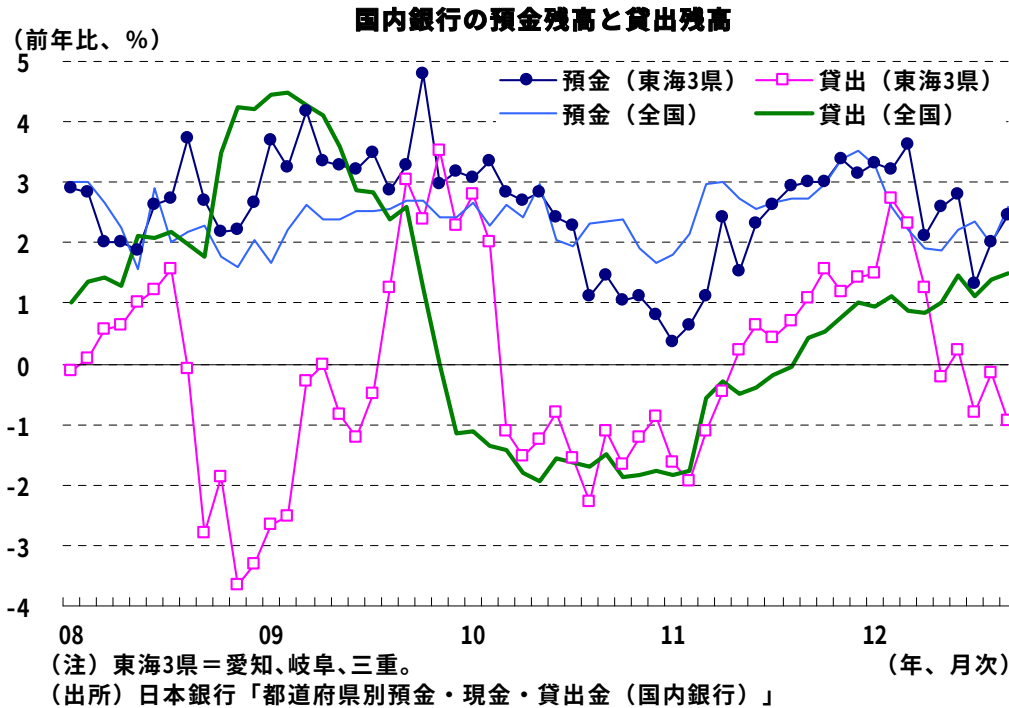


(注) 東海4県＝愛知、岐阜、三重、静岡。

(出所) 総務省「消費者物価指数」

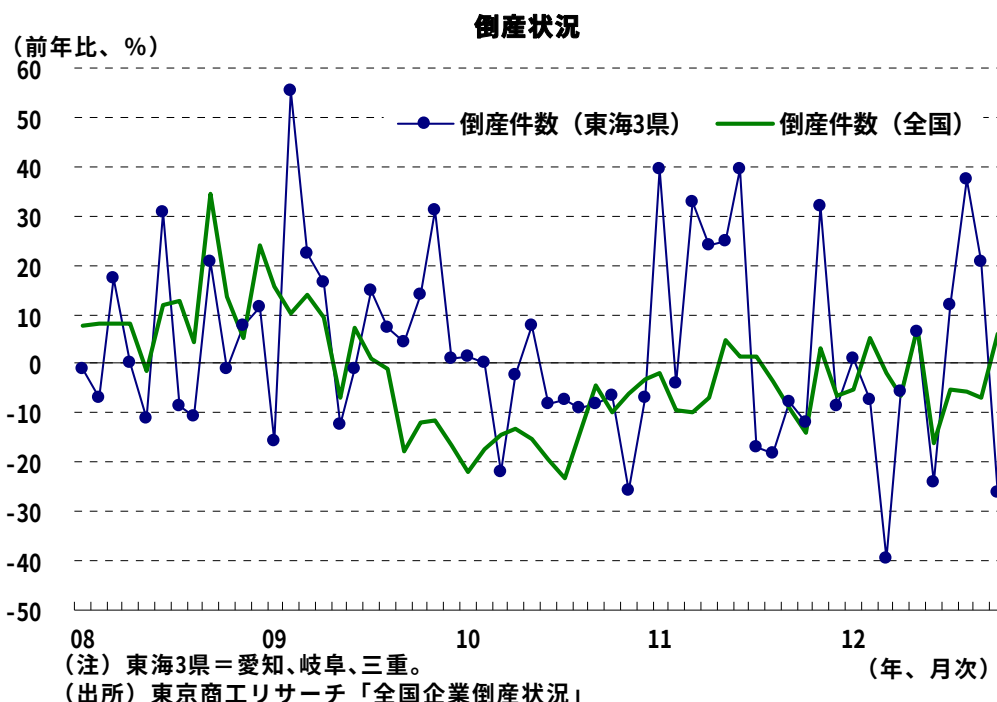
11. 金融 ～預金は増加、貸出は減少

○9月の東海3県の預金残高（国内銀行ベース）は、企業が手元資金を取り崩しているものの、個人預金が堅調に推移し、前年比+2.5%と増加した。一方、貸出残高（国内銀行ベース）は同-0.9%と3ヶ月連続で減少した。自動車生産がピークアウトし、企業の資金需要は弱まっている。



12. 倒産 ～倒産件数、負債総額ともに減少

○10月の東海3県の倒産件数は、愛知（前年比-20.3%）、岐阜（同-43.8%）、三重（同-37.5%）、いずれも減少し、東海3県全体でも前年比-26.1%の65件と4ヶ月ぶりに前年を下回った。負債総額は同-10.9%の120億円と3ヶ月ぶりに減少している。規模別では中小・零細企業の小口倒産が引き続き多く、業種別ではサービス業の倒産が目立っている。



【全国及び関西地区との比較】

【今月の景気予報】

		3ヶ月前～	現況	～3ヶ月後			3ヶ月前～	現況	～3ヶ月後
景気全般	全国	↓		↓	輸出	全国	↓		↓
	東海	↓		↓		東海	↓		↓
	関西	→		→		関西	↓		↓
個人消費	全国	→		→	輸入	全国	→		→
	東海	→		→		東海	→		→
	関西	→		→		関西	→		→
住宅投資	全国	→		→	生産	全国	↓		↓
	東海	→		→		東海	↓		↓
	関西	→		→		関西	↓		↓
設備投資	全国	→		→	雇用	全国	→		↓
	東海	↗		→		東海	↓		↓
	関西	→		↗		関西	→		→
公共投資	全国	↗		↗	賃金	全国	→		→
	東海	→		→		東海	↓		↓
	関西	↗		→		関西	→		→



：晴れ



：薄日



：曇り



：小雨



：雨

(注) 1. 3ヶ月前～、～3ヶ月後は「現況」の変化の方向感（改善、横ばい、悪化）を表し、「現況」は現在の水準を天気マークで表す。
 2. シャドー部分は、前月から矢印および天気マークを変更した項目を表す。
 3. 全国は11月2日時点の予報。

【各項目のヘッドライン】

項目		10月のコメント	11月のコメント
1. 景気全般	全国	持ち直しが一服	弱含んでいる
	東海	横ばい圏で推移しているが、一部に弱い動き	弱含んでいる
	関西	横ばい圏で推移しているが、一部に弱い動き	横ばい圏で推移しているが、一部に弱い動き
2. 生産	全国	弱含んでいる	減少している
	東海	減少している	減少している
	関西	弱含んでいる	弱含んでいる
3. 雇用	全国	厳しいものの、持ち直しの動き	持ち直しが一服
	東海	持ち直しの動きが一服している	弱含んでいる
	関西	持ち直しの動きが一服	持ち直しの動きが一服
4. 賃金	全国	弱含んでいる	弱含んでいる
	東海	減少している	減少している
	関西	横ばい圏で推移	横ばい圏で推移
5. 個人消費	全国	持ち直しが一服	持ち直しが一服
	東海	横ばい圏で推移	横ばい圏で推移
	関西	横ばい圏で推移	横ばい圏で推移
6. 住宅投資	全国	緩やかな持ち直し基調にある	横ばい
	東海	横ばい圏で推移	横ばい圏で推移
	関西	横ばい圏で推移	横ばい圏で推移
7. 設備投資	全国	持ち直している	持ち直しが一服
	東海	増加しつつある	増加しつつある
	関西	持ち直しつつある	持ち直しつつある
8. 公共投資	全国	増加している	増加している
	東海	横ばい圏で推移	横ばい圏で推移
	関西	このところ増加している	増加している
9. 輸出入	全国	輸出は弱い動き、輸入は頭打ち	輸出は減少、輸入は頭打ち
	東海	輸出は弱い動き、輸入は横ばい	輸出は弱い動き、輸入は横ばい
	関西	輸出は弱い動き、輸入は横ばい	輸出は弱い動き、輸入は横ばい
10. 物価	全国	国内企業物価、消費者物価とも緩やかに下落	国内企業物価、消費者物価とも緩やかに下落
	東海	消費者物価は横ばい	消費者物価は横ばい
	関西	消費者物価は小幅下落	消費者物価は小幅下落
11. 金融	全国	銀行貸出、マネースtockともに緩やかに増加	銀行貸出、マネースtockともに緩やかに増加
	東海	預金は増加、貸出は減少	預金は増加、貸出は減少
	関西	預金は増加、貸出は横ばい	預金、貸出ともに増加
12. 倒産	東海	倒産件数、負債総額ともに増加	倒産件数、負債総額ともに減少
	関西	倒産件数、負債総額ともに減少	倒産件数は減少、負債総額は増加

(注) シャドー部分は前月と比較して見方を変更した項目 (11.金融、12.倒産を除く)

「グラフで見る東海経済」の見方

【今月の景気判断】

○レポート発表時における景気判断。**【今月の景気予報】**における各項目の現況をもとに総合的に判断。

【今月の景気予報】

○3ヶ月前～・・・3ヶ月前～現況の「方向感」を、①改善、②横ばい、③悪化の3段階に分類。

○現況・・・・・・各項目の現在の「水準」を①晴れ、②薄日、③曇り、④小雨、⑤雨の5段階に分類。

○～3ヶ月後・・・現況～3ヶ月後の「方向感」を、①改善、②横ばい、③悪化の3段階に分類。

（注）

現況をあらわす天気マークはあくまで「水準」を判断したもので、3ヶ月前～の矢印が①改善、③悪化の場合でも、必ずしも天気マークが変更されるわけではない。

【当面の注目材料】

○各項目の現況、見通しをふまえて、今後景気を判断する上で注目すべきポイント。

【各項目のヘッドライン】

○全12項目について、毎月簡単なヘッドラインを記載、当月と前月のものを対比して示している。

○右端は各項目のグラフが掲載されているページ数。

【前月からの変更点】

○景気予報において判断の変更があった場合に変更理由を記載。

【主要経済指標の推移】

○当レポートで用いられている経済指標の半年間の動きを掲載。

【各項目】

○発表されている経済指標を元に現況の判断、今後の見通しをグラフを用いて解説。

【全国及び関西地区との比較】

○【今月の景気予報】と【各項目のヘッドライン】について、全国（グラフで見る景気予報）と関西地区（グラフで見る関西経済）の判断と、一覧表で比較。

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡下さい。